

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-510069(P2005-510069A)
【公表日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)
【年通号数】公開・登録公報 2005-015
【出願番号】特願 2003-545088(P2003-545088)
【国際特許分類第 7 版】

H 0 5 K 7/20

【F I】

H 0 5 K 7/20 G

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 27 日 (2004.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

平坦な壁体部分 (34) と、複数の開口部 (40) 及び前記各開口部の間に延在するリブ (42) を有し、前記壁体部分 (34) にある、開口された通過プレート (38) と、を備えている、換気されるべき装置のためのハウジング (30) 部品において、前記開口部 (40) は、平坦な前記壁体部分 (34) の平面に位置しており、前記リブ (42) は、平坦な前記壁体部分 (34) の平面に対して少なくとも部分的にオフセットされていることを特徴とするコンポーネント。

【請求項 2】

前記リブ (42) は、前記壁体部分 (34) の面から突出するように湾曲していることを特徴とする請求項 1 に記載の部品。

【請求項 3】

前記リブ (42) は、前記壁体部分の面形状に従うリブ (22) に比較して長くなっていることを特徴とする請求項 2 に記載の部品。

【請求項 4】

前記リブ (42) は、前記平坦な壁体部分の平面に対して約 5 乃至 15 % だけ長くなっていることを特徴とする請求項 3 に記載の部品。

【請求項 5】

前記リブ (42) は、楕円切片又は波形の形態で湾曲していることを特徴とする請求項 2 乃至 4 のいずれか一項に記載の部品。

【請求項 6】

前記リブ (42) は、挟れていることを特徴とする請求項 1 に記載の部品。

【請求項 7】

開口された前記通過プレート (38) の総面積に対する開口面積の割合が 60 % よりも大きく、特に 68 % よりも大きいことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の部品。

【請求項 8】

前記壁体部分 (34) は、二次元又は三次元の面を形成していることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の部品。

【請求項 9】

前記壁体部分（３４）は、金属でできていることを特徴とする請求項１乃至８のいずれか一項に記載の部品。

【請求項１０】

請求項１乃至９のいずれか一項に記載の部品を備えていることを特徴とする、電気装置又は電子装置のためのハウジング。

【請求項１１】

請求項１乃至１０のいずれか一項に記載の部品を備えていることを特徴とする、送風機により冷却される電源供給部のためのハウジング。